

TSUNAGU

石原 富子 議員
斎藤 信治 議員
野々口 眞由美 議員

問 高齢者への対応は

健康な方でも自粛生活の中で、心身ともに不良を訴える声を聞く。フレイル予防の観点からも高齢者の健康状態を把握することが必要である。実態を把握した上で、次の感染拡大に備えるべきではないか。実態把握と今後の取り組みについて伺う。

答 次の感染拡大に備えた取組をしていく

地域活動の代表者へ電話によるアンケートを実施し、状況の確認をする。心身の健康が保たれるよう広報や、緊急時通報システム事業などの高齢者福祉サービスの案内、高齢者を支える総合相談窓口である地域包括支援センターを高齢者やその家族に周知していく。

問 生活保護申請の状況は

雇止めや解雇などにより全国的にみると生活保護の相談が増加傾向である。そこで、当市の申請状況、プライバシーに配慮した相談場所の確保。また、窓口での対応に偏りはないかなど、利用しやすい適切なサポート体制は取られているのか伺う。

答 適切な保護決定を行っていく

現在、当市の生活保護申請状況に大きな変化は認められない。また、相談の際の個人情報の保護については別室を確保している。

国・県の最新情報を職員間で共有し、社会資源の活用を図りながら自立に向けたサポートを行い、適切な保護決定を行っていく。



左から 野々口、石原、斎藤

問 安心につながる情報発信は

市民への情報発信の主な媒体は市公式ホームページである。情報の不足、発信の遅さなどの声が寄せられているが、市民が必要としている情報の把握方法と、改善点を伺う。また、広報紙や回覧物について感染回避のための新しい取り組みについて伺う。

答 感染防止に配慮して適切な広報に努める

市長への手紙や市への問い合わせメールなどの広聴制度を活用して市民の声を把握している。広報紙やホームページなど各広報媒体の特長を生かした効果的な情報発信に努める。ウイルス感染予防のため、広報紙などの配布・回覧物は厳選し、3密回避に取り組む。

問 児童生徒の学びの保障は

双方向のやり取りが可能な学校通信環境の整備。さらにGIGAスクールサポーターを配置し、早期のGIGAスクールの実現を目指すべきはないか。また、教室で授業が受けられない児童生徒のために、授業のライブ配信を行い全ての児童生徒に学びの保障を。

答 オンライン学習の環境整備を検討する

国交付金により早期導入する200台の端末を活用した、双方向のオンライン学習の導入について検討している。GIGAスクール構想は、可能な限り早期実現を目指す。授業のライブ配信は実現に向けた課題が多いため、今後も他自治体等の状況を注視していく。

GIGAスクールとは、一人一台のパソコンにより誰もが個性に応じて、高速大容量の通信ネットワークにより、場所を選ばず（家庭でも学校でも）勉強できる教育システムのこと

